

項目	確認事項	届出内容
基本情報	大学等名1(代表大学等)	山口大学
	大学等名1(代表大学等)※カナ	ヤマグチダイガク
	大学等名1(代表大学等)※学校コード	F135110110054
	大学等名1(代表大学等)学校本部所在地	山口県
	大学等名1(代表大学等)学校種別	国立大学
	科目名	プロジェクト演習
	学部・研究科等名	経済学部観光政策学科
	担当教職員名・役職	朝水 宗彦・教授、諏訪 竜夫・准教授
	受講者数実績年度	令和2年度
	受講者数※インターンシップ参加者数	2
	受入企業等数	2
	受入企業等名	防府市役所おもてなし観光課、サンデン交通株式会社
	インターンシップの分類	10.地元企業・経済団体や地方公共団体等との協働による地域密着型のインターンシップ
上記以外のインターンシップの分類(記述欄)		
要素①	1-1.当該インターンシップは、就業体験を伴うものになっていますか。	1.はい
	1-2.該当する就業体験	1.企業等における業務への従事
	1-2.で「3.その他」の就業体験の内容	
	1-3.上記回答内容に関する詳細	・防府市役所おもてなし観光課及び一般社団法人防府観光コンベンション協会における研修 ・山口宇部空港内の航空事業部門における研修
要素②	2-1.当該インターンシップを正規の教育課程の中に位置付け、シラバス等において、インターンシップの実施目的や期待する教育的効果を明確にしているなど、体系的なプログラムとして単位認定が行われていますか。	1.はい
	2-2.該当するインターンシップの内容	3.当該インターンシップは、専門教育科目として実施している 4.当該インターンシップは、必修科目として実施している 7.当該インターンシップは、授業期間中に実施している
	2-2.「9.その他」で実施しているインターンシップの内容	
	2-3.当該インターンシップを実施する年次	大学 学部2年 大学 学部3年 大学 学部4年
	2-4.当該インターンシップで付与される単位数	大学 2単位
	2-5.上記回答内容に関する詳細	学生各自が何らかのプロジェクトを企画・実行し、レポートにまとめ、最後に報告会での審査をパスしたのち単位取得できる科目である。観光についての企画力を、社会との接点(実践)において培うとともに、それをレポートにまとめ、人前で発表できる能力(プレゼンテーション能力)をつけることを目的としている。観光政策学科観光経済分析コース及び観光コミュニケーションコース2年次以上を対象とした2単位の必修科目である。学外実習は通常、夏季休業期間中の3～7日間程度としている。

要素③	3-1.インターンシップの実施前の学生・企業双方との目標設定や目的のすり合わせや、実施後の振り返り等を行うなどの適切な学修の時間が設けられていますか。また、インターンシップの教育的効果が発揮されるようインターンシップ期間中に適切なモニタリングを実施していますか。	1.はい
	3-2-1.該当する事前学習の内容	1.学生に対して、社会人としてのマナーや守秘義務の遵守、パソコンの使用方法等を身に付ける授業等を行っている
		2.学生が受入企業の事業内容等に関する事前の調査・研究を行っている
		3.学生に対して、インターンシップにおける成果目標の確認や行動計画等の策定を行っている
		4.学生に対して、正規の教育課程としてのインターンシップの実施目的や期待する教育的効果の理解を促している
	3-2-1.「5.その他」で実施している事前学習の内容	
	3-2-2.該当する事後学習の内容	1.日報やレポート等を用いて、現場での体験の振り返りを行っている
2.報告会等により、インターンシップの成果について、受入企業や担当社員へのフィードバックを行っている		
3.振り返りを実施し、成果目標等の達成について確認を行っている		

	3-2-2.「4.その他」で実施している事後学習の内容	
	3-2-3.該当するモニタリング	1.インターンシップ中に、教職員が定期的に企業等へ赴き、学生と面談を実施している
	3-2-3.「3.その他」で実施しているモニタリングの内容	
	3-3-1.事前学習の内容に関する詳細	第1回目の授業でインターンシップの趣旨や目的について、第2回目以降は、各自の目標設定や企業研究等を実施している
	3-3-2.事後学習の内容に関する詳細	学生各自の成果は、「プロジェクト演習」独自の研修報告会での発表に加え、観光政策学科が主催のセミナー（年次報告会）の中でも発表を行っている
	3-3-3.モニタリングの内容に関する詳細	大学の教員がインターンシップ中に学生及びインターンシップ受け入れ先との情報共有を行っている
要素④	4-1.インターンシップの教育的効果を定量的・定性的に把握できる手法・仕組みを取り入れていますか。	1.はい
	4-2.該当する教育的効果を測定する仕組み	1.アンケートやレポートの作成をインターンシップの実施前後で実施し、学生の意識や行動の変容について確認を行っている
	4-2.「4.その他」で実施している教育的効果を測定する仕組み	
	4-3.上記回答内容に関する詳細	研修期間の日誌と成果報告書を提出させ確認を行っている
要素⑤	5-1.一定期間のまとまりのある連続した5日間以上のインターンシップの実施期間を確保していますか。	1.はい
	5-2.該当する実施期間	1.連続した5日間以上の実施期間を確保している
	5-2.で「1.連続した5日間以上」を選択した場合	5日
	5-2.で「2.事前・事後学習を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.で「3.複数の企業等を合わせて5日間以上」を選択した場合	
	5-2.「4.その他」の実施期間の内容	
	5-3.上記回答内容に関する詳細	防府市役所おもてなし観光課及び一般社団法人防府観光コンベンション協会、サンデン交通株式会社（山口宇部空港内の航空事業部門）において、5日間のインターンシップを行った。
要素⑥	6-1.大学等と企業の双方が関与し合い、学生に対する教育的効果の最大化に努めているなど、大学等と企業が協働してプログラムを設計していますか。	1.はい
	6-2.該当する大学等と企業の協働取組の内容	1.企業や産業界にとっての意義やメリット、必要な成果等を考慮し、企業と協働してプログラムを設計している
	6-2.「7.その他」で実施している大学等と企業の協働取組の内容	
	6-3.上記回答内容に関する詳細	受け入れ先にプログラム計画段階から参画いただき、担当者とはインターンシップ中も情報共有を行っている。
	7.上記①～⑥で回答した各要素の内容について、詳細が記載されているシラバスなどの資料が閲覧できる大学等のウェブサイトのURL	山口大学シラバス https://www.kyoumu.jimu.yamaguchi-u.ac.jp/portal/Public/Syllabus/SyllabusSearchStart.aspx?lct_year=2020&lct_cd=1033135002&je_cd=1
問	大学等名	山口大学
	担当部署名	経済学部学務係

問い合わせ先	担当者役職名	係長
	担当者氏名	田中幹夫
	電話番号	083-933-5606
	メールアドレス	ec194@yamaguchi-u.ac.jp